



# 夢が丘

北小だより「夢が丘」  
令和7年11月20日  
NO.4  
上田市立丸子北小学校  
学校自己評価委員会

## 全国学力・学習状況調査の結果から

4月に6年生を対象に行われました「全国学力・学習状況調査」の結果についてお知らせします。本校は、国語と算数は全国平均をやや上回り、理科は全国平均を大きく上回る結果となりました。

国語では、全国平均正答率をやや上回りましたが、全国に比べて無回答の児童が多かったです。内容では「書くこと」の平均正答率が高かったです。昨年度の NRT の結果から、「書くこと」と「読む」とが課題でした。昨年度の NRT の「書くこと」では、全国平均正答率よりも-6.1でした。学習プリントを利用して自分の考えを記入させたり、できるだけ自分の言葉でまとめを書けるようにさせたりした成果であると考えています。「読むこと」では、全国平均正答率を下回りました。説明文の構成のつながりが理解できないことや、段落ごと要約する力が低いことが原因と考えられます。文章を図式化したり、接続詞に着目させて文と文の関係を明確化したりして、文の中での語句のかかわり方、文と文との接続の関係、文章の構成や展開について理解できるようにしていきたいと思います。

算数では、全国平均正答率をやや上回りました。内容では「図形」の平均正答率が高く、全国平均正答率より+5.3でした。特に正答率が低かった問題は、「グラフの読み取り」「分数」「割合」でした。「グラフの読み取り」では、目的にあったグラフを選択する力や、グラフを読み取る力を身につけさせていく必要があると思います。「分数」では、「数直線上に示された数を分数で書く」問題で、無回答が全国7.8に対して12.8と高かったです。また、「異分母同士のたし算」の問題で、無回答が全国4.1に対して10.3と高かったです。『一つのを等分に分け、それが何個あるのかを分母と分子で表す方法が分数であること』を再確認させる必要があります。また、異分母同士のたし算では、最小公倍数の見つけ方から復習させる必要があります。「割合」では、『比べる量』と『もとにする量』を図式化することによって解けるようにしていきたいと思います。

理科では、全国平均正答率を大きく上回りました。すべての領域において、全国平均正答率を上回っています。特に、A 区分「エネルギー」を柱とする領域が全国平均正答率よりも+11.4上回り、B 区分「生命」を柱とする領域は全国平均正答率よりも+5.5上回りました。全体的によく学習内容を身に着けています。このように学力を高められる授業の在り方、どんな工夫がされているのかを共有していきたいと思います。しかし、問題形式型の問題では、全校平均回答率より-5.2となりました。赤玉土の粒の大きさによる水のしみこみ方の違いについて、結果をもとに結論を導いた理由を記述する問題では、全国平均正答率60.5のところ本校は、45.5でした。実験や観察をする目的をはっきりとして取り組み、その結果から自分の考えをまとめる力を伸ばしていくことが大切であると考えています。



# 学校行事や学習の紹介

## 4年生長野市見学

4年生は、11月14日（金）に長野市見学へ行きました。県庁、信濃毎日新聞本社、善光寺を見学しました。県庁では、議場を見学して県議会について学びました。信濃毎日新聞社では、新聞がどうやって作られるのかについて知ることができました。善光寺では、お戒壇めぐりをして真っ暗な通路を歩いて錠前を触ってきました。実際に見ることで、多くの学びを得ることができる社会見学となりました。



## 地域の方に感謝する会



日頃から支えていただいている地域の方に感謝の気持ちをお伝えしようと、「地域の方に感謝する会」を行いました。

学校の活動は、多くの地域の方のお支えのおかげで、行うことができます。登下校の際は、多くの方が児童のために交差点や道路で見守りの活動やあいさつをしてくださっています。学習では、読み聞かせや学習のボランティアに来ていただいています。

当日は、代表の学年から感謝の気持ちを込めて歌の発表をしました。また、全校での合奏を披露しました。ご来校いただいた皆様からは、「感動したよ。」「元気をもらったよ。」などのうれしいご感想をいただきました。

地域の皆様には、今後も児童のためにご支援をよろしくお願いいたします。

## フリースタイルプロジェクト（探究の時間）

フリースタイルプロジェクト（探究の時間）では、3年生以上の児童が自分の好きなことや興味があることをとことん探究しようと取り組んでいます。

お料理に取り組んでいる児童や、小説を書いている児童や、サッカーのドリブルに取り組んでいる児童など、一人ひとりテーマがちがいます。また、探究を進める場所も異なり、探究する方法も自分で考えて決めています。

フリースタイルプロジェクトの時間を通して、自分で課題を設定して、情報を収集分析し、それをまとめて表現したり発信したりすることで、自分を高めていってほしいと思います。

